

十五氏一団体を表彰

—第十六回月潟村表彰式—



広報つきがた

昭和62年2月15日発行

昭和六十一年度月潟村表彰式が去る一月十一日役場で開催され、村政の発展、産業文化、社会福祉の向上などに尽力され、その功勞が顕著な、

十五氏、一団体を村の表彰条例に基づき表彰いたしました。

表彰式は「役職者懇談会」と同時に開催され、各種団体の役職者約九十人の見守る中、村長から一人ひとりに表彰状と記念品が贈られました。

受賞者は次の方々でした。

一、村の行政、教育文化、産業、保健衛生、民生、土木、土地改良、災害、納稅、慈善事業、その他公益事業について功勞顕著なる者

▲写真前列右より、野内イツ、高野サヨ、山際英子、間島芳和（代理）野沢庄一、金子村長、土田モトエ（角兵衛獅子保存会）関根ミヨ、加藤進、後列右より田村総務課長、池田収入役、木村ヤマ、近藤広子、関根久男、小林幹博、星野副議長、神保議長、深沢総務文教委員長、瀬下教育長（敬称略）

役職者懇談会開催

村民体育館／社会復帰施設などの建設要望出る

村内各種団体の役職者の方々から幅広く意見、要望等を聞き、よりよい村政の執行にあたるうと、去る一月十一日「役職者懇談会」が役場において開催されました。

▲第三回新春役職員懇談会
村の現況を説明する村長
◆参加者の中から多くの要望等が寄せられました。

① 村長 報酬審議会の答申を尊重したい。曲公民館を残し有効利用するようにして欲しい。

② 村長 環境改善センター（ミニ体育館）を作る計画であるが、六十二年度はできなない。六十三年度以降二～三年の継続事業で建設したい（予算二億円程度）。

③ 特別職や議員報酬についての考え方について、又、町村の負担等むずかしい面がある。家族会の意見を集め、町村委会での検討の場作りが先と考えられる。

④ 村長 環境改善センターに一室を設けたい（早くて昭和六十五年春）飛地の解消について。

昭和62年

総代さん決まる

昭和六十二年の各部落の総代さんが次とのおり決まりました。

月潟、西萱場、間島、昭一、東長島、木滑、野内、藤枝、利正、新鈎寄、後藤、昭英

大別当 小湊 金作（敬称略）

多年、月潟村民生委員として村政発展に尽くされた功績。

故間島 義衛殿 生前、村議會議長をはじめ数々の要職を歴任された村政発展に尽くされた功績。

三、徳行のすぐれた者 木村 ヤマ殿 関根 ミヨ殿 高野 サヨ殿 山際 英子殿

野沢 庄一殿 角兵衛獅子保存会殿 多年、角兵衛獅子を月潟村の郷土芸能として伝承発展に尽くされた功績。

昭和62年 功績。率先して献血に協力された

二、村の職員として満二十年以上勤続し成績がすぐれ功劳があると認められる者 野内 イツ殿

昭和62年 特別職の報酬等答申 昭和六十二年度の村長、助役、収入役と村議會議員の給料、報酬は、「月潟村特別職報酬等審議会（会長：大橋満津治氏）」に諮問され一月二十八日に開催された審議会において、次のことおり答申がありました。

◎委嘱された委員（敬称略） 農業団体代表 曽山弥市郎 商工団体代表 阿部 重雄 学識経験者 大橋満津治 婦人団体代表 長谷川広子 勞働団体代表 金子 繁作 部落代表 近藤 熊弥

◎答申の内容 三役の給料並びに議會議員の報酬は、現行のまま据え置きとする。

については、行政で指導してゆくものではないが、住民の要望は聞いてみたい。
⑥ 防犯灯電気料の全額補助を望む。
⑦ 鈎寄の新幹線沿いの道路整備（舗装）はいつごろか。
⑧ 新潟交通の駅除雪については、消防団員以外から除雪にあたって欲しい。
⑨ 村長 消防団員を含めた中で、広く検討してゆきたい。
⑩ 村長 希望に沿うよう努力したい。
⑪ 村長 各部落にある集落開発センター等の施設の火災保険料は村で負担する。電気料については從前通り半額補助でお願いしたい。
⑫ 村長 各部落の火災保険料は村で負担する。電気料については從前通り半額補助でお願いしたい。
⑬ 村長 各部落の火災保険料は村で負担する。電気料については從前通り半額補助をお願いしたい。
⑭ 村長 各部落の火災保険料は村で負担する。電気料については從前通り半額補助をお願いしたい。

多年、月潟村民生委員として村政発展に尽くされた功績。